児童生徒の携帯電話利用状況等に関するアンケート調査結果について

１　目的

近年、ＳＮＳ等の利用に起因して子供が犯罪の被害に遭うケースが後を絶たない状況にあることから、子供に対し、携帯電話等の利用状況等に関するアンケート調査を行ったもの

２　調査対象

小学５年生～高校２年生の合計６，２８９人

（小学校３１校、中学校１３校、高等学校６校　計５０校抽出）

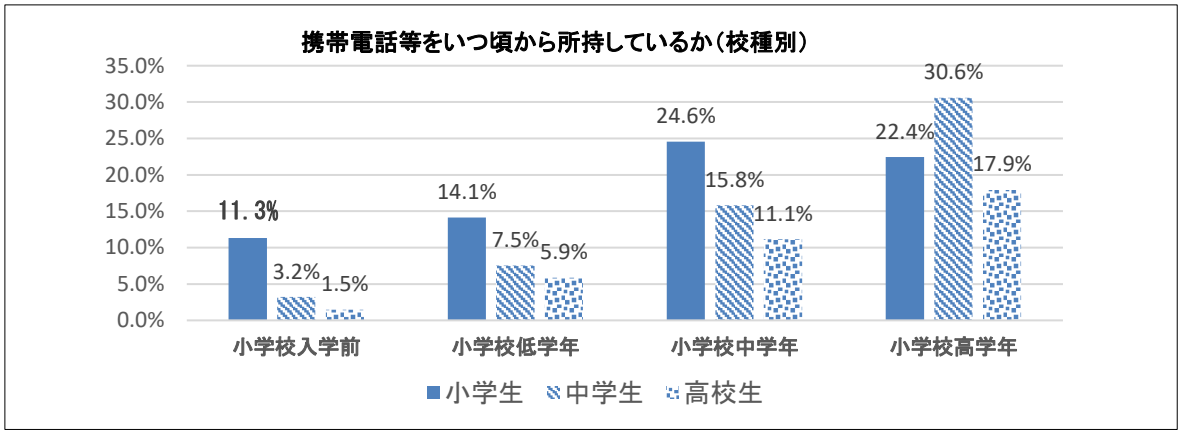
３　調査期間

令和５年１０月４日（水）から令和５年１０月１７日（火）までの間

４　調査結果

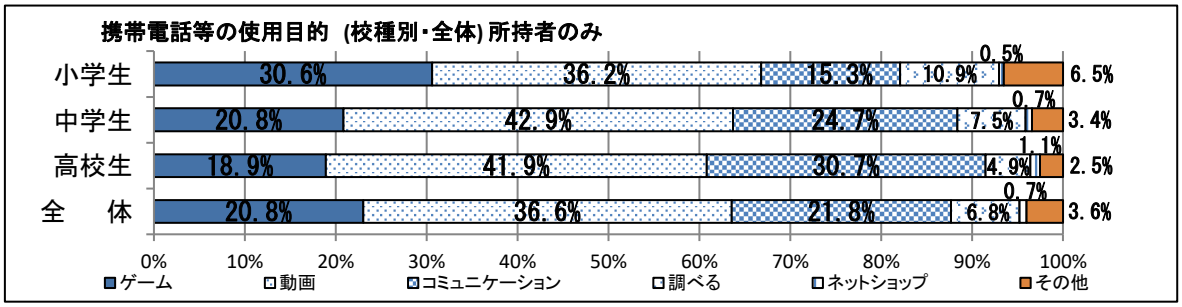
⑴　基本情報

ア　携帯電話等（携帯電話、タブレット）を所持した時期



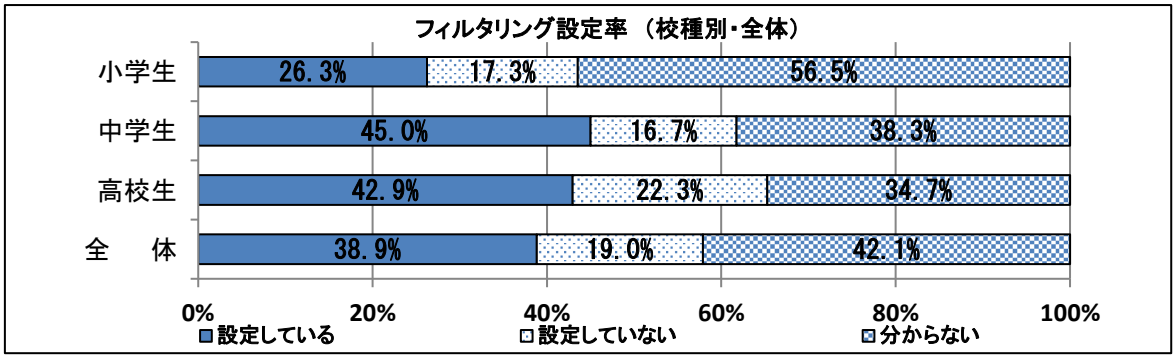
○　小学校入学前に所持した割合は、小学生が１１．３％と他校種に比べて高くなっている。また、小学生の所持率の合計は、７２．４％であり、４人に３人が所持している状況

イ　携帯電話等の主な使用目的



○　いずれも動画視聴が最も多いが、小学生はゲーム利用も多く、中学生や高校生はコミュニケーションが増加

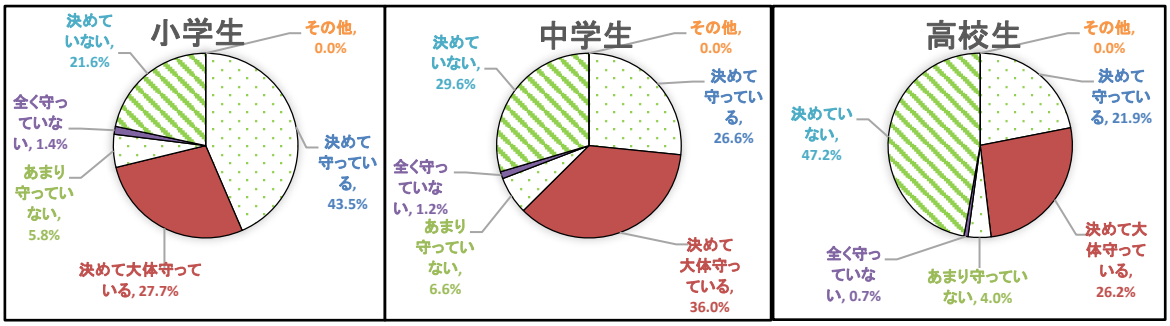
ウ　フィルタリング設定状況



○「設定している」の小・中・高の平均は38.9%（前年度比＋1.0%）

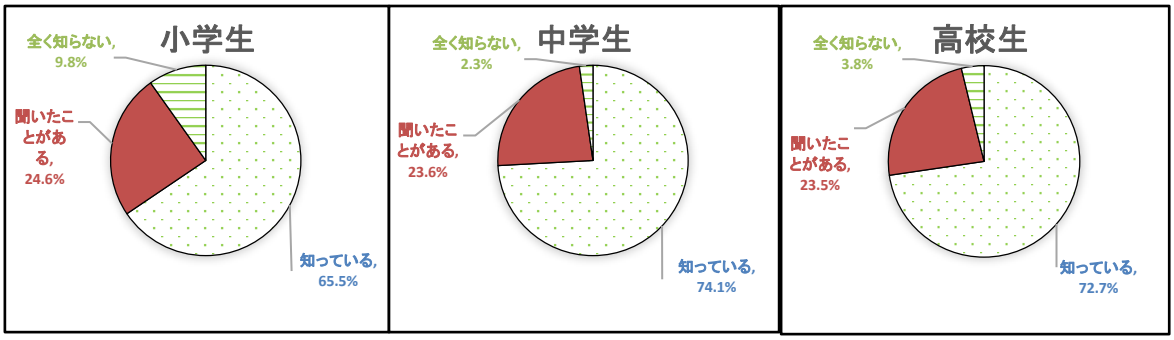
○　「設定していない」の小・中・高の平均は19.0%（前年度比－0.9%）

エ　インターネット利用に係る家庭でのルールと遵守状況



○　「家庭でのルールなし」は、学年が上がるごとに増加

オ　セーフティネット標語「おぜのかみさま」の認知度（対象者全員が回答）

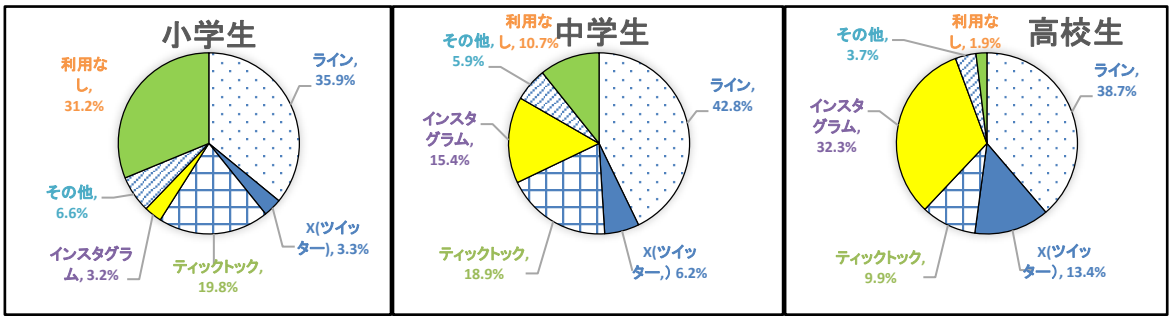


○　「知っている」が増加傾向

（小学生：前年度比＋1.2%、中学生：前年度比＋1.6%、高校生：前年度比＋7.4%）

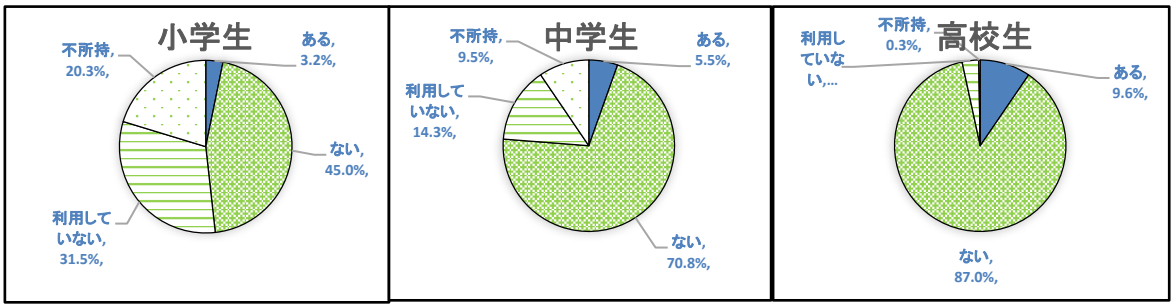
⑵　ＳＮＳの利用状況等

ア　ＳＮＳの利用状況



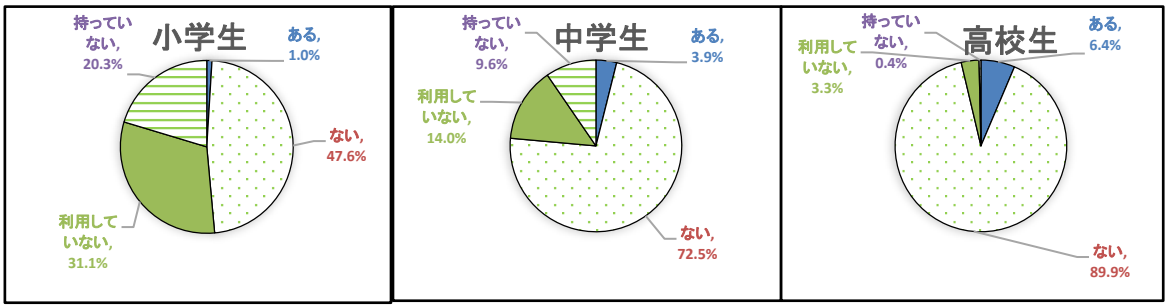
○　学年が上がるごとに、X（旧ツイッター）、インスタグラムの利用が増加

イ　ＳＮＳで知り合った人と直接会ったことがある（SNS 利用者 4.912 人中のうち 369 人）



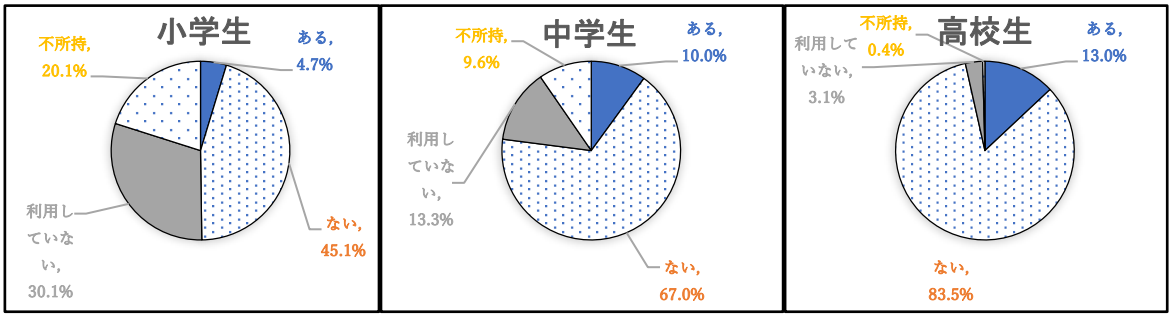
○　「ある」は、小中学生は、増加、高校生は、減少
（小学生：前年度比＋1.1%、中学生：前年度比＋1.9、高校生：前年度比－0.8%）

ウ　ＳＮＳで自分の画像を送ったことがある（SNS 利用者 4.912 人中のうち 230 人）



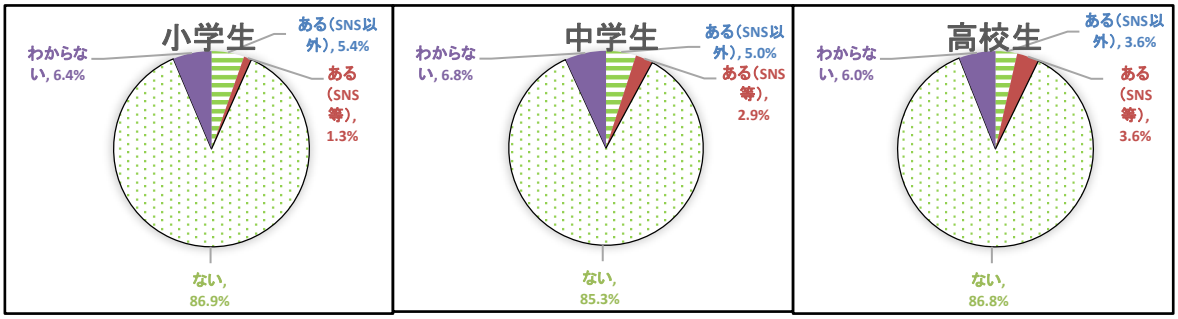
○　「ある」は、小学生は、横ばい、中学生、高校生は減少
（小学生：前年度比±0%、中学生：前年度比－0.2%、高校生：前年度比－1.5%）

エ　ＳＮＳで闇バイトの情報を見たことがある（SNS 利用者 4.912 人中のうち 577 人）



○　「ある」は、学年が上がるごとに増加

オ　ＳＮＳ等でいじめられた経験がある



○　「ＳＮＳ等被害」は、小学生は増加、中学生、高校生は減少
（小学生：前年度比＋0.3%、中学生：前年度比－0.5%、高校生：前年度比－0.1%）